

(記者資料)

平成 27 年 11 月 17 日 (火)
問合先：企画部 交通政策課
担当：課長 若菜 一繁
電話：0436-23-9762

房総横断鉄道活性化連携事業について

地方創生事業交付金を活用し、沿線 3 自治体（市原市・大多喜町・いすみ市）と両鉄道会社（小湊鐵道・いすみ鐵道）が行政区域・官民の垣根を越えて連携を組み、地域公共交通としての両鐵道を維持存続させるための事業を行う。

内房と外房をつなぐ、小湊鐵道といすみ鐵道の沿線は、過疎化が進み著しく地域が衰退し、また、両鐵道の乗車人員も通勤・通学など生活交通としての利用者が年々減少しており、鐵道を維持存続させるための活性化が課題となっております。

両鐵道は、東京湾に面した市原市を起点とする小湊鐵道と太平洋を望む大原駅を起点とするいすみ鐵道が千葉県の中央部であり両鐵道の終着駅である上総中野駅で接続しています。このことから両鐵道を一本の鐵道に見立て、「房総横断鐵道」としてのブランドを確立させ観光需要による新たな旅客の獲得を喚起するとともに、沿線地域の経済活性化を目指します。

1 知名度アップ戦略

両鐵道を一本の鐵道に見立て、「房総横断鐵道」としての観光ブランドを確立させるため、観光ポスター・パンフレットの作成・配布、各種メディアへのPR活動を行なう。

2 付加価値切符の発売

房総横断鐵道乗車券¥1,700 に金券（¥680 限度）を付加して販売する。大多喜町・いすみ市・市原市の食事処や温浴施設などの利用、お土産商品の購入に利用してもらう。

3 イベントの実施

両鐵道駅を利用し、房総横断を達成した人に両鐵道駅に関するオリジナル賞品が抽選により当たる応募用紙を配布する。

4 実施主体

房総横断鐵道活性化協議会

構成員：小湊鐵道、いすみ鐵道、大多喜町、いすみ市、市原市、国土交通省、千葉県、千葉県観光物産協会、JR 東日本、日本民鉄協会